

第四回マイコトキシン研究会セミナー御案内

1997年1月25日

寒さ厳しき折、皆様方には益々ご健勝のことと御喜び申し上げます。

さて、マイコトキシン研究会は発足以来20有余年を過ぎ、この間食品や農産物あるいは医薬品素材などを汚染するカビおよびその有毒代謝物でありますマイコトキシンに関して、多面的な研究を積み重ねて参りました。会員は医学・薬学・農学・理学等の幅広い分野から構成され、実態の究明やその対策に取り組み、研究成果の意見交換を積極的に行うことで、食品、飼料、生薬などの安全供給に貢献しております。

本研究会では、マイコトキシン研究への理解を深めていただき、かつ現場で役立つことを目的にセミナーを開催しております。第一回目は「米のカビ」、第二回目は「マイコトキシン分析に関する最近の動向」、第三回目は「食品工場におけるカビ汚染とその対策」と好評のうちに回数を重ねてまいりました。今回、「液体クロマトグラフィーによるマイコトキシン分析の問題点」と題して第四回目のセミナーを開催することにしました。マイコトキシン分析の分野にも液体クロマトグラフィーが応用され、今や欠かすことのできない機器分析の一つとなっています。最新の機器や器材を使い、分析上の問題点を探りながら理解を深めていただければと考えております。皆様方のご参加を心からお待ちいたしております。

なお、各方面にご案内を差し上げているつもりではあります。もしお知り合いでこの企画をご存じない方がおりましたら、お話しくださいますようお願い申し上げます。

マイコトキシン研究会会長
東京理科大学薬学部 教授 上野芳夫

セミナーの内容に関する問い合わせ先：

〒169 東京都新宿区百人町3-24-1 東京都立衛生研究所 上村 尚
TEL:03-3363-3231 (内線231) FAX:03-3368-3368-4060

液体クロマトグラフィーによるマイコトキシン分析の問題点

【目的】

一昨年の食品衛生法の改正により、HACCP や GLP が導入され、品質管理あるいは試験検査部門に携わる部署ではその対応が求められている。このような背景の中マイコトキシンも HA (危害分析項目) としてリストアップされるなど、マイコトキシンの分析精度の維持向上を図る必要がある。高速液体クロマトグラフィーを用いた場合の問題点を探り解決する。

【主催】

マイコトキシン研究会

【協賛】

(株) 島津製作所

【期日】

1997 年 3 月 13 日 (木) から 14 日 (金) まで

【会場】

島津製作所東京カスタマーサポートセンター

神奈川県秦野市堀山下 380-1 最寄り駅：小田急線 (渋沢)

【プログラム】

13 日午前 一講演および講義一

GLP 導入の意義とその対応 東京都立衛生研究所 西島 基弘

GLP 導入に伴う機器管理 島津製作所 村北 宏之

マイコトキシン分析とその問題点 東京都立衛生研究所 上村 尚

HPLC 分析の問題点とその解決 島津製作所 後藤 武

13 日午後 一実習一

14 日 一実習および討論一

【参加費】

賛助会員・研究会会員 ¥40,000 非会員 ¥50,000 (テキストおよび実習諸費を含む)

【参加申込手続き】

- ・参加申込参加申込書に必要事項を記入の上、下記に郵送してください。
〒169 東京都新宿区百人町 3-24-1 東京都立衛生研究所 上村 尚
- ・申込締切 1997 年 2 月 20 日ただし、定員に達し次第締め切らせていたたきます。
- ・参加費納入参加申込受付票とともに、銀行振込票、会場案内図、宿泊所紹介などの資料を送付いたします。

氏 名

勤務先・所属

連絡先住所（1．勤務先・2．自宅）TEL / FAX

マイコトキシンの分析経験の有無（1．有 2．無〔年間〕）

高速液体クロマトグラフィーの経験の有無（1．有 2．無〔年間〕）

その他の分析経験

仕事の分野： 医薬 食品 一般化学 その他